

奥村のり子の
読者ニュース

2017年11月5日 第287号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



識者が語る“小選挙区制マジック”
世襲も敬愛人物次第で戦争か平和か

10月30日付「日刊」赤旗に毎日新聞社特別編集委員の岸井成格（しげただ）氏が総選挙結果についてテレビ発言した記事が掲載。「一番の問題だと思っるのは小選挙区制マジックだ」「3割の得票で7割の議席が取れる。そういうことが起きる制度です。抜本的に見直す時期です」と主張。「死票」が多くなり、買収が起りやすく一度当選すれば同一人物が長期に勤め劣化する欠点もある制度。94年に導入され、20年超えるのだから見直す世論を広げる必要があります。

日刊赤旗26日付3面にジャーナリストの青木理（おさむ）氏が登場。氏の著書「安倍三代」の序章で2014年の総選挙で「世襲」当選者は112人あり自民党は3人に1人と指摘。その空極形の存在は安倍晋三であること、母方の祖父は岸信介元首相。日本の政治が劣化した原因は「選挙制度」や「戦争を知る世代の減少」とともに「2世、3世の時代」と指摘も。世襲議員は選挙の苦勞はないし、逆境は経験しない。安倍氏の場合父方の祖父に寛（かん）という衆院議員がおり、戦争に突き進んだ軍部と軍部出身の政権に公然と抗う政治家だったが、安倍氏はこの祖父を敬愛せず、日米安保条約を改定に導いた岸信介への敬愛を隠そうとしない。同じ世襲でも敬愛する人を誤ったのが戦争か平和かの岐路になったのです。（編集室）

河西後援会のバスツアー
神戸港一周クルージング

10月26日、総選挙後に夢中となり気がついた時は楽しみにしていた河西後援会のバスツアー。坂口多美子さんも参加して疲れ解消の一日になりました。雨と嵐の選挙でしたがこの日は雲一つない晴天。秋晴れのもと神戸港一周のクルージングを楽しみました。お誘いした方も喜んで下さいましたが、唯一残念なのはデッキへ出て景色や海の風を感じたかったと言われてしまいました。目撃点になりました。船内で話

十九日投票の紀ノ川市議選
お知り合いにご支援お願いを

11月19日紀の川市の市議員選挙です。2議席から3議席に挑戦します。紀の川市は合併後、保育所を次々と統廃合し、3つの図書館も廃止をしました。子どもたちの学校給食は10校で自校給食が行われていましたが全て、給食センターからの配送にされました。共産党は反対し、地域の身近な保育所や図書館、自校給食をまもれと主張しました。国保税引き上げ、ゴミ袋代の値上げにも反対と住民の声を届けました。憲法を生かす紀の川市政実現のためぜひご支援をよろしくお願ひします。（奥村のり子）



こんな一幕もありました
(バスツアー)

台風21号の被害

10月22日の台風21号で、床上、床下浸水などの被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。先日、西田井地域や鴨井川地域の皆様から生々しい実情を聞かせて頂きました。「夜中に畳が浮いてきて飛び起きた」「腰まで水がきた」「自家用車はもちろん、仕事に使っていた車も駄目になってしまった。修理にいくらかかることや」「夜勤から帰ってきたらえらいことになっていて。もうここには住めない」など、畳や家財道具を庭に出したり、部屋の中にくっきりと残る泥水の跡を見せてくれながら話してくれました。市の総合防災課は、調

「もう住めない」など生々しい声がいっぱい



23日時点の紀伊地域の浸水状況です

査に入り「り災証明書」や「和歌山市の主な災害支援制度」のお知らせを渡していると聞いています。県下の新宮市などでは災害救助法が適応されるようですが、被災された方から「和歌山市でも同様の被害が出ているのに」との声も聞きました。畳だけでなく床板や家具、車など改修費用は相当な金額となります。とても現在の市の「床上浸水に限る」とされている「見舞金」や「減免制度」では不十分です。市議団としても早急な改善を求めて行きた

党市議会議員
南畑さち代



リレートーク

Relay talk

リレートーク

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 11月3日 ウオーキング大会 憲法を守る行動
- 4日 9条の会、地域訪問
- 5日 県総会、女性部会
- 6日 デイサービスボランティア、市駅前街づくり懇談 河西事務所無料生活相談
- 7日 定例会議、環境を考える会
- 8日 地域訪問
- 9日 新春のつどい実行委員会